

さんむくせい

令和5年10月13日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 鈴木 理香
(焼津市立焼津南小学校)

養護教諭のつながり～縦の系と横の系～



静岡県養護教諭研究会副会長 白柳 真弓

私は、自他ともに認める「心配性」です。若い頃は、養護教諭の仕事をしていても迷ってばかりで、一人職であることにため息をつきたくなる時が、いく度となくありました。そんな時に、私が心のよりどころにしていたのは、近隣の先輩養護教諭の存在でした。一人で悶々と悩んでいたある時、勇気を出して近くの学校の大先輩に電話をしてみました。その方は、御自分もお忙しかったでしょうに、気さくに私の話を聞き、丁寧に教えてくださっただけでなく、「困ったら、またいつでも電話しておいで。」と優しくおっしゃいました。それがどれほどありがたく思えたことか！先輩方には、研修会でお会いした時にも、たくさんのことを教えていただきました。学校現場の中で、医学的な素養を求められる存在でありながら、教育職でもある「養護教諭」という職への向き合い方を聞いたことが、その後の自分の考え方に大きく影響を与えることとなりました。

それから十数年が経ち、地区の部会で研究発表をまとめる立場になった時、今度は養護教諭の横のつながりの素晴らしさを実感しました。仲間の養護教諭は皆、得意分野を持っていました。実践のアイデアが豊富な人、文章力のある人、ICTに強い人、発表方法を考えるのが得意な人……。皆がそれぞれの得意分野を生かし、研究をまとめ、無事に発表することができました。一人の力では成し得なかったことも、皆の力を合わせることで大きな力になると実感した瞬間でした。

養護教諭は校内では1人、多くても2人の存在です。しかし、養護教諭にはつながりがあります。先輩から後輩へつながる縦の系、仲間同士をつなげる横の系、このつながりが一人職の養護教諭を支えていると私は考えます。

今年度は、コロナ禍で制限されていた対面での研修会が増え、養護教諭の縦と横のつながりを強くする機会が戻ってきました。先輩から得た財産を後輩へつなぎ、仲間同士で刺激し合いながら実践力を高め、これからも「子供たちの幸せのために学び続ける養護教諭」でありたいと思います。



地区紹介① 小笠地区

小笠地区は、掛川市・菊川市・御前崎市の小学校37校、中学校13校、会員50名で組織されています。小笠地区養護教諭研究会では「育成と連携」を活動の重点とし、年2回の全体研修会と年3回の班研修会を開催しています。本年度の全体研修会では、掛川市教育委員会 GIGA 班の清水啓行様から「ICTを活用した保健室経営・保健指導」について、菊川市立総合病院産婦人科医の城向賢様から「思春期における包括的性教育と地域連携」について講話をしていただきました。

本年度の地区の研修テーマは「自分の身体と主体的に向き合う子どもの育成～切れ目のない健康教育を進めるための効果的な連携の在り方～」です。養護教諭のつながり、そして、地域や専門機関、多職種とのつながりを大切にしたい取り組みを進めていきたいと思っています。

地区紹介② 沼津地区

沼津地区は、小学校 23 校（複数配置校 2 校）、中学校 17 校、小中一貫校 3 校、中等部 1 校、会員数 41 名で組織されています。研修テーマは「養護教諭としての基本的執務の見直し～市内の共通理解を図り、執務の改善・効率化を目指す～」とし、研修を進めています。養護教諭制度 80 周年を迎え、私たちの執務はその時代のニーズに合わせて変化してきたことを改めて認識しました。また、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対応や教育活動の ICT 化等、ここ数年で急激に変化したことも多く、市内共通で足並みを揃えて執務を行いたいという願いを多くの養護教諭が抱きました。そのため、一人ひとりのスキルアップはもちろんのこと、足並み揃えるべきものを明確化し、共通理解を図りながら執務をふり返り、足元を見つめ直す研修として取り組んでいます。

横の繋がりを大切に、一人で不安を抱えずに執務を行えるようにしていきたいと思います。

養護教諭夏季研修会

8 月 8 日（火）グランシップ

本会主催の養護教諭夏季研修会が、4 年ぶりとなる集合開催で行われました。久しぶりに一堂に会する嬉しさに、会場のあちこちに笑顔の花が咲きました。



「養護教諭が行う救急処置」と題した境野高資先生の御講演では、今までの経験から大きく頷く声や、最新の情報を得て、子供の命を守るためには的確な対応や処置が求められることが改めて意識された質問も多く上がりました。熱気あふれる研修会となり、集合研修のよさを味わうことができました。

当日の様子はホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

付箋・クリアファイルの売り上げ金は全額「日本赤十字社」に寄付させていただきました。

ご協力ありがとうございました

小・中・高交流研修会

8 月 23 日（水）清水テルサ

静岡県高等学校養護教育研究会役員、本研究会役員、会誌「たちばな」編集委員、地区理事が参加して、研修会を開催しました。



前半は地区ごとに分かれ、「児童生徒の ICT 機器の活用状況と保健室から見た子供たちの様子」について情報交換をしました。後半の焼津市立総合病院 視能訓練士 巻田育代先生による「目の健康について～ICT 機器による目の影響」の御講演では、眼が見えるしくみから ICT 眼症とその対策、コンタクトレンズの使用についてなどのお話を詳しく聞くことができました。この研修会の内容については「たちばな 66 号」に掲載しますのでご覧ください。



冬季研修会のお知らせ

12 月 19 日（火）

多くの会員の皆さんに参加していただけるように、静岡県総合教育センターとプラサヴェルデ（沼津）の 2 会場をオンラインで結び、研修会を行います。午前は「ICT の活用実践、情報モラル」等についての講話、午後は「iPad を用いた実技研修」です。

講師は実践事例集 18「養護教諭が行う ICT の活用実践」の監修者でもある静岡県総合教育センター 総務企画・ICT 推進課 企画・ICT 推進班の先生方です。

各会場での参加には、事前の申込みが必要です。また、午前のみ、後日オンデマンド配信を行います。

静岡県養護教諭研究会 HP
こちらから

